

金沢マラソン 2021

新型コロナウイルス感染症 防止対策【概要】



2021年7月
金沢マラソン組織委員会

【2021 大会開催概要】

日 時：2021 年 10 月 31 日（日）8:35～15:40（7 時間 5 分）

定 員：10,000 人（国内在住者に限定 2019 年大会比 3,000 人減）

コース：前回大会（2019 大会）と同じ

その他：オンライン大会も開催（9/10～10/10）

1. はじめに

○日本陸上競技連盟が示した「ロードレース再開についてのガイダンス」に基づき、全国のマラソン大会が感染対策を施して大会を開催予定です。

○金沢マラソンについても当ガイダンスを基に、感染症医師・保健所保健師・看護師等の医療従事者の意見を反映した「金沢マラソン 2021 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル」を 2021 年 2 月に策定し、下記のとおり取り組んで参ります。

○なお、以下に示す感染対策の内容は、あくまでも現時点でのものであり、今後日本陸連のガイダンス改訂や感染状況等を踏まえ、内容を随時見直すことがあり得ることに留意をお願いします。

2. 開催の前提条件

- ・石川県における緊急事態宣言、まん延防止重点措置が発出されていないこと
- ・石川県・金沢市から開催が認められていること
- ・新型コロナウイルスに関する医療体制が逼迫していないこと
- ・医療・救護班を担当する医師、看護師、スポーツトレーナーが確保されていること

3. 大会参加・従事の可否判断の基準

以下の場合、大会参加・従事は認めません。

- ①感染者と認められた場合（大会前 3 週間以降）
- ②保健所から濃厚接触者と認められた場合（大会前 2 週間以降）
- ③感染疑い症状（息苦しさ、高熱など）の発症の場合（大会前 8 日以降）

※感染疑い者の要件は陸連の基準より厳格化

4. 参加者・スタッフの体調管理等

- ・大会開催 8 日前から「体調管理チェックシート（ボランティアにあっては簡易版）」を用いて体調チェックを実施し、受付等に提出。
- ・各施設入口等で消毒・検温を実施し、体温が 37.5℃以上の場合は入場を制限。
- ・スタッフは活動に従事する際は必ず手洗い又は手指消毒を実施の上、マスクを着用。（必要に応じて、使い捨て手袋やフェイスシールドを配布）
- ・参加ランナーの大会前 72 時間以内の PCR 検査および、ワクチン接種を推奨。

5. 大会中の感染を防止する主な取組

(1) 共通

- ・ランナー・ボランティア・スタッフ全員に手指消毒液を配布
(必要に応じてフェイスシールド[®]、使い捨て手袋も配布)
- ・マスク着用の義務づけ (ランナーにあっては競技中以外)
- ・目印等により、最低1mの間隔を空けられる会場設計



携帯用消毒液

(2) 各分野における対策

【他大会の様子 (以下写真は同じ)】

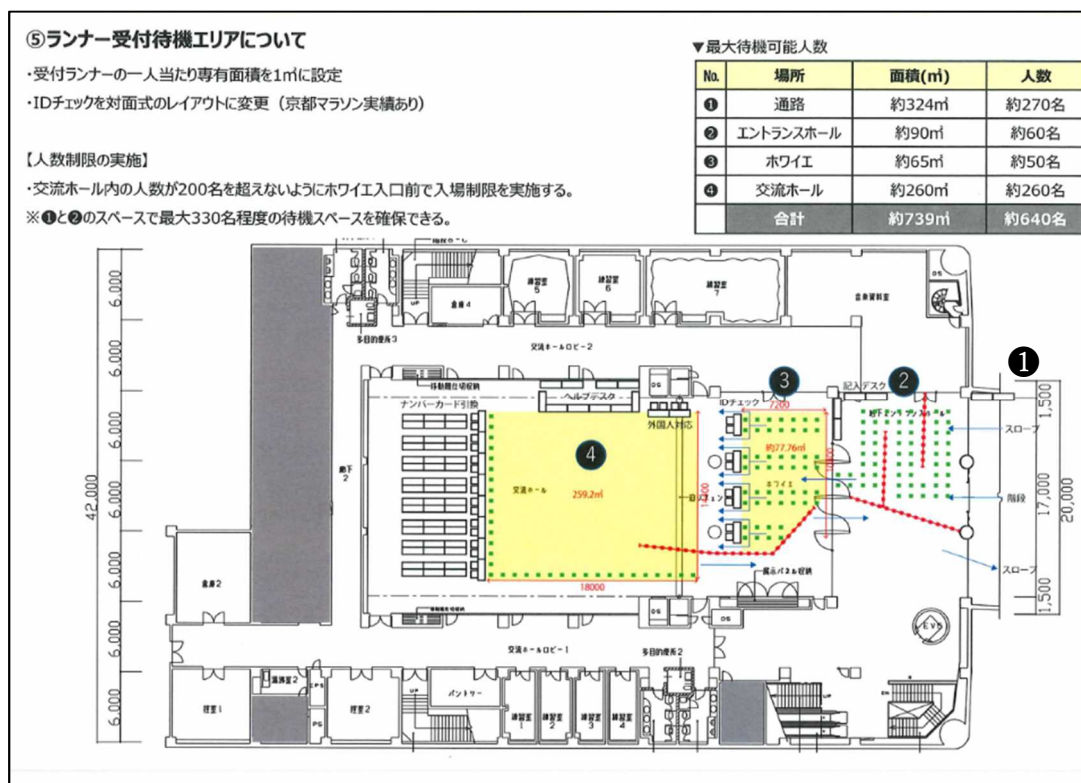
① 受付会場

A. ランナー受付

- ・ランナー含む全員がマスク着用
- ・入場時の検温、手指消毒の実施
- ・フェイスシールドの配布
- ・使い捨て手袋の配布
- ・目印設置によるソーシャルディスタンスの確保
- ・サインによる各種感染対策の周知
- ・ボランティア人数を適正化し、密を回避
- ・本人確認の上、セキュリティブンド[®]の装着
(当日のなりすましを防止)
- ・入場制限の実施 (下記図面参照) 等



フェイスシールド[®]を着用した受付

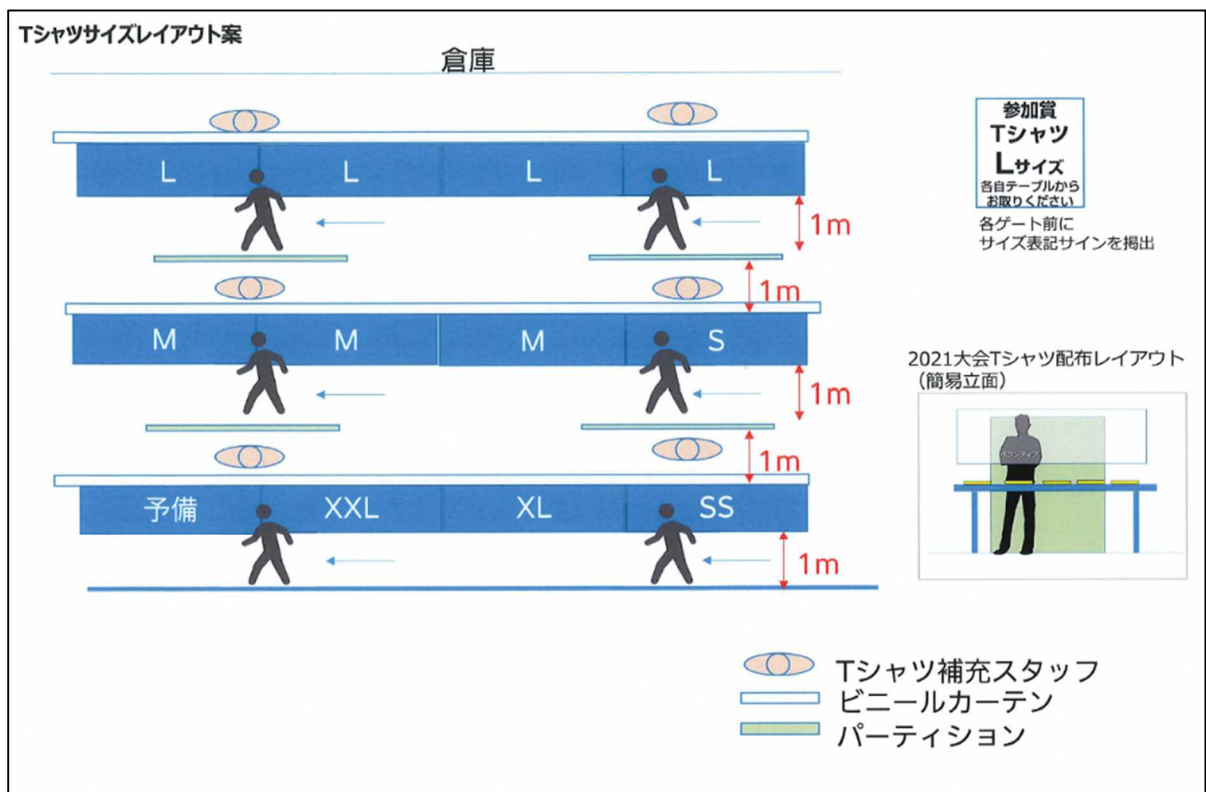


B. 参加記念品の配布

- ランナー含む全員がマスク着用の上、参加記念Tシャツを受取または配布
 - セルフサービスで配布し、手渡しは行わない
(ボランティアは補充のみ実施)
 - ビニールカーテンの設置又はフェイスシールドの配布
 - 使い捨て手袋の配布
 - 目印設置によるソーシャルディスタンスの確保
 - ソーシャルディスタンスを確保した動線設計 等
- ※詳細は以下図面のとおり



目印設置によるソーシャルディスタンス確保



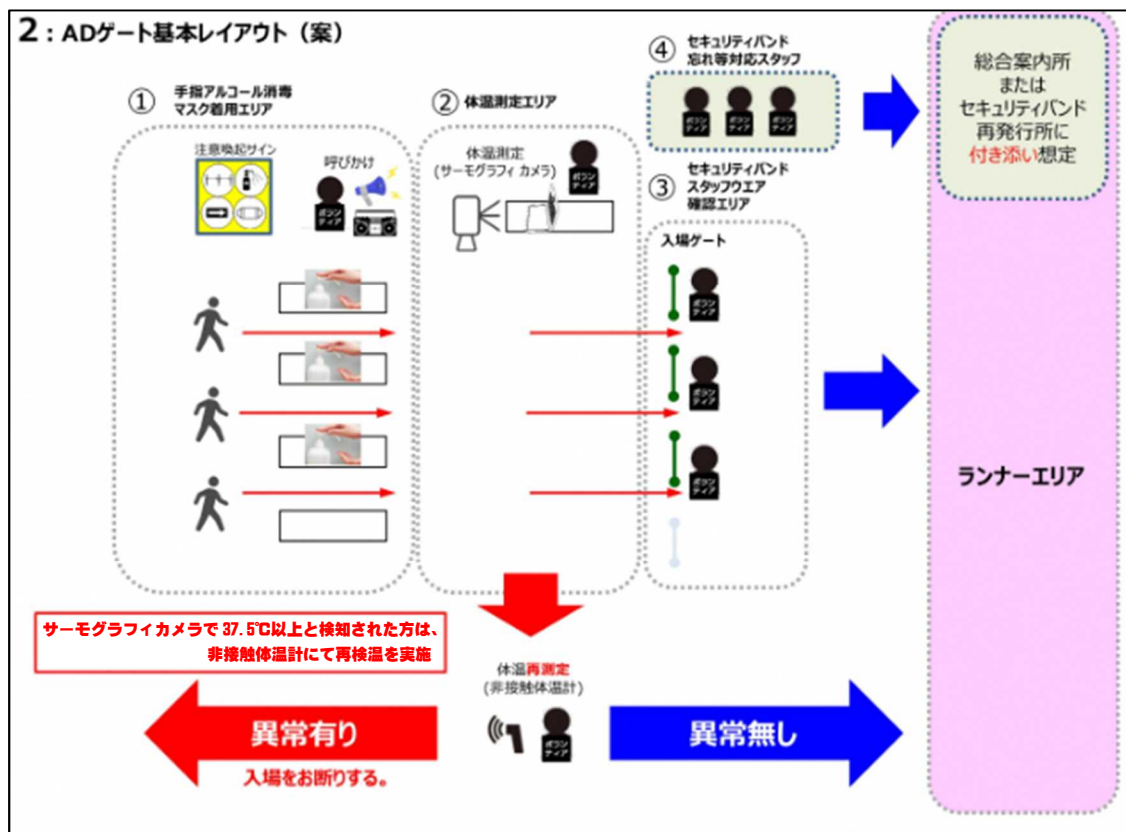
②スタート会場

A. 入場口（ADゲート）

- ・ランナー含む全員がマスク着用
（サインによる注意喚起実施）
- ・入場時に手指消毒・検温の実施
- ・セキュリティバンドによるチェックを実施し、
なりすましを防止



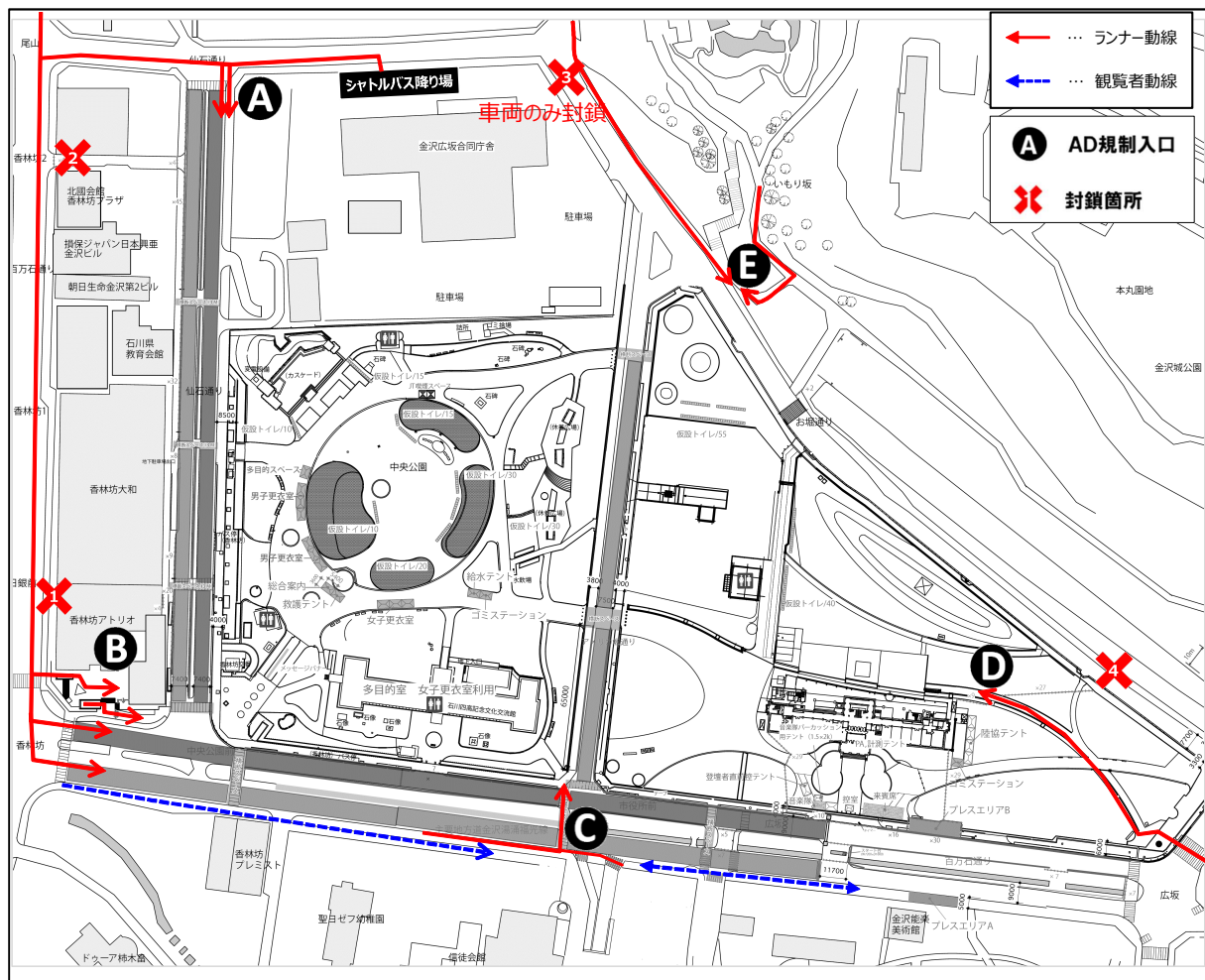
セキュリティバンド
(イメージ)



B. スタート時

- ・ スタートブロックの拡張
(広坂通り、仙石通りの両側の道路を活用)
- ・ 1 m間隔で整列 (走り出すまでマスクを着用)
- ・ ウェーブスタート (時間差スタート) を実施
(2回に分けてスタート 各約 5,000 人)

【参考：スタート会場図面】



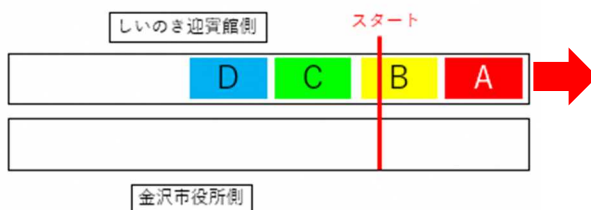
【参考：ウェーブスタートについて】

【旧】従来のスタート（2019大会まで）

1. しいのき迎賓館側に 13,000 人が整列（金沢市役所側は未使用）

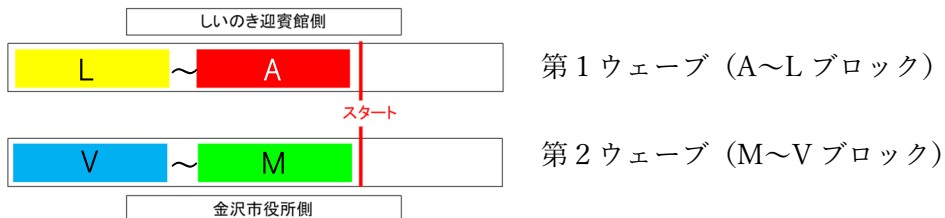


2. 全員が一斉にスタート

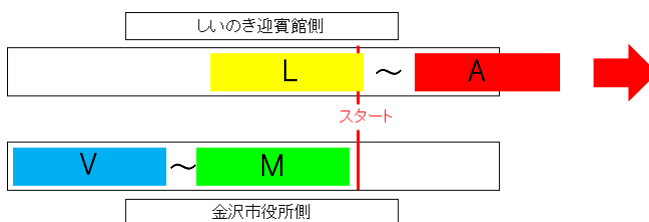


【新】2021大会のウェーブスタート

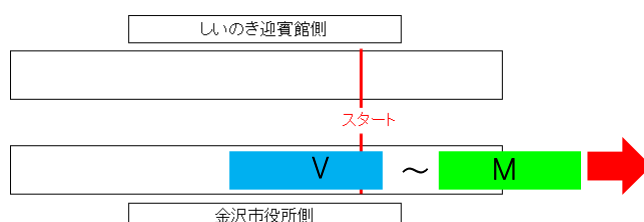
1. しいのき迎賓館側と金沢市役所側の 2 箇所各約 5,000 人ずつ整列（1人あたり 1 m²確保）



2. [8時35分] しいのき迎賓館側の約 5,000 人がスタート（金沢市役所側は待機）



3. [8時45分] しいのき迎賓館側がスタート完了後、金沢市役所側の約 5,000 人がスタート



③競技中

A. コース沿道

- ・ 一般の沿道応援は自粛を要請
- ・ ただし、応援スポット及び応援ステージは感染防止対策を施した内容で運営
- ・ 全ての応援スポット等に、感染症防止対策推進員を配置し、感染防止のための声かけや応援グッズの配布等を行う
- ・ 感染症対策に配慮した応援グッズの配布 等



沿道応援の自粛要請

B. 給水・給食所

- ・ スタッフへフェイスシールド及び使い捨て手袋の配布
- ・ 机の増設、机の間隔拡大、道路状況次第で走路両側への配置等により、ランナーを分散
- ・ 個包装や紙コップによる給食の提供
- ・ 食べるのに時間を要する給食所（カレー等）については、イートスペースを併設し、走路上の密を回避
- ・ 紙コップ等の散乱を防ぐため、ゴミ箱を増設 等



間隔を空けた給食所の運営

C. トイレ

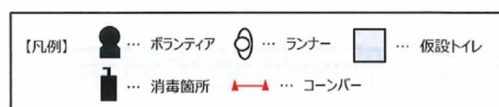
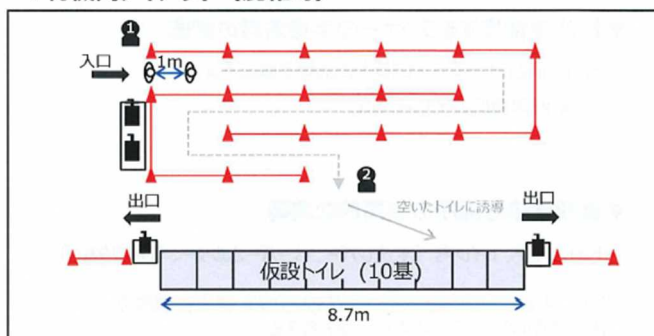
- ・ ランナーへのマスク着用の呼びかけ
- ・ 予備マスクの配布（紛失したランナー向け）
- ・ 使用前、使用後における手指消毒の徹底（消毒液の設置）
- ・ ソーシャルディスタンス確保の呼びかけ 等



個包装の給食
(イメージ)

※基本レイアウト（案）は以下のとおり

▼待機列レイアウト（混雑時）

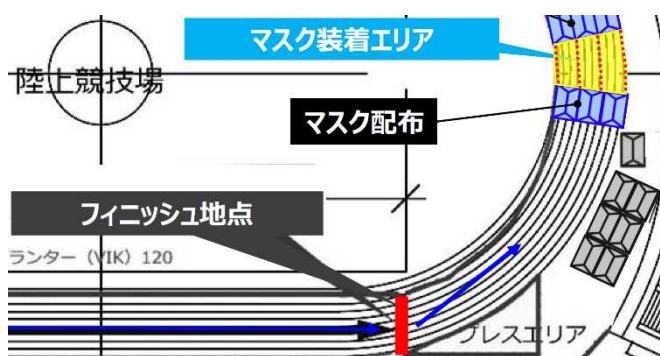


④フィニッシュ会場

A. フィニッシュ直後

- ・マスク配布テントにおいて、手指消毒をしてからマスクを受け取り
- ・マスク着用エリアを設け、マスクの着用を徹底
(レイアウト案は下記のとおり)
- ・手指消毒・マスク装着完了後、ランナーサービステントに向かう動線設計

【消毒・マスク配布・マスク着用エリア】



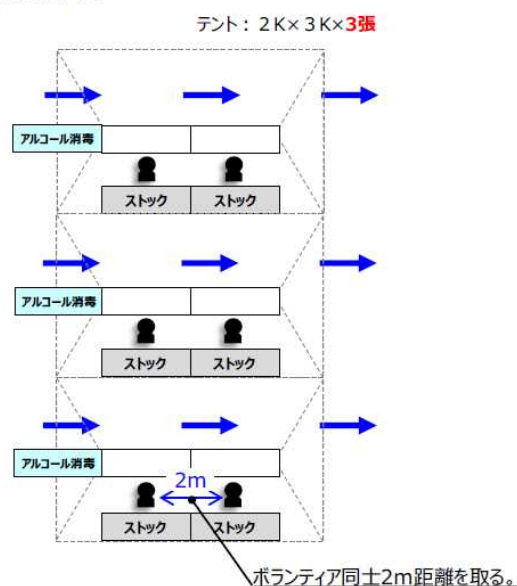
【変更内容】

- ・テントを3張にして、ランナーを1張に1列で進行させる。
- ・テント各列の入口にアルコール消毒液を設置。
- ・マスク…間隔をあけて机の上に並べる。

【ボランティアの対応】

- ・ボランティアはランナーに直接手渡ししない。
- ・マスク受け取りのお声かけと補充を行う。

▼マスク配布テント



B. ランナーサービス

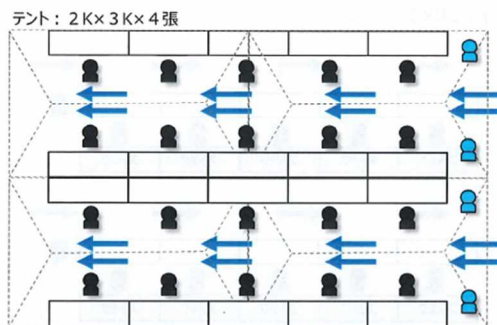
- ・テントを増設し、2レーンから3レーンに拡張
- ・レーン内はランナーのみ通過とし、ボランティア動線との重複を回避
(レイアウト案は次頁のとおり)
- ・セルフサービスで配布し、手渡しは行わない
(ボランティアは補充のみ実施)
- ・ビニールカーテンの設置、フェイスシールド及び使い捨て手袋の配布
- ・ボランティアによる声援、声かけの自粛
(拍手で対応)
- ・業務上必要な声かけを可能な限り避けるため、必要事項は放送等でアナウンス



【ランナーサービス テント内レイアウト（新旧）】

【旧】

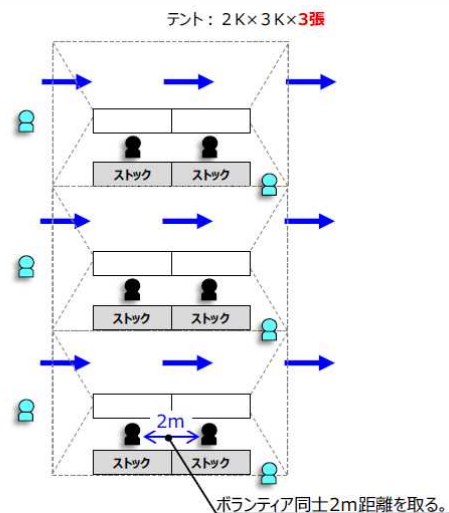
▼ 2019年大会テント内レイアウト



【新】



▼ 2021年大会テント内レイアウト（案）



【変更内容】

テントを3張にして、ランナーを1張に1列で進行させる。
 ・完走メダル…間隔をあけて机の上に並べる。

【ボランティアの対応】

ボランティアはランナーに直接手渡ししない。
 ランナーサービス受け取りのお声かけと補充を行う。

C. その他感染防止対策

- ・ 飲食ブース（もてなし鍋、出店）の中止
- ・ 選手ケア（マッサージ・鍼灸サービス）の中止
- ・ 完走証の対面発行の中止（オンライン発行に切り替え）
- ・ 更衣室は、従来の産業展示館2号館に加え、3号館も活用し、ソーシャルディスタンスを考慮した1人当たりのスペースを確保

6. 備考

- ・ 65歳以上の方、基礎疾患を有する方については、罹患した場合、重症化するリスクが高いとされているため、事前の体調管理等、特に気を付けてご参加ください。